

# 水質部会資料

## 諮 問 事 項

令和6年度水質測定計画の策定について

<参 考 資 料>



# がぶらばし 加布羅橋（雷山川）の環境基準（生活環境項目）長期未達成について

## 1 加布羅橋（雷山川）におけるBODの傾向

雷山川は昭和 52(1977)年に A 類型（BOD : 2 mg/L 以下）に指定され、加布羅橋を環境基準点として河川の常時監視を行っている。過去の BOD 測定結果（図 1）から、前原処理区の下水道終末処理施設が運転開始した 1991 年から水質が好転、2000 年から 2015 年頃には低減傾向がみられるものの、全年代を通じて基準未達成が常態化していることがわかる。

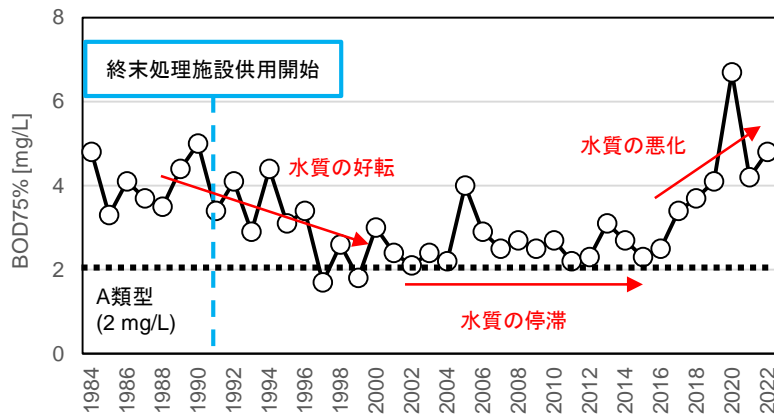


図 1 加布羅橋（雷山川）の BOD75%値の推移

## 2 BOD 悪化要因に係る調査

保健環境研究所が加布羅橋と吉原橋の 2 地点（図 2）で令和 4 年 5 月から令和 5 年 4 月まで毎月水質調査を実施したところ、BOD が高い月には EC も上昇し、2 地点の BOD 及び EC が同じ傾向で推移（図 3 - a）するとともに、これらの項目と T-N 及び NH<sub>4</sub>-N も概ね同様の傾向が得られた（図 3 - b）。

加布羅橋は感潮域であることや加布羅橋の下流域に下水道終末処理施設が立地していることを踏まえると、潮位が高くなることで下流から海水とともに下水処理放流水が遡上し、加布羅橋の水質（BOD、EC、T-N、NH<sub>4</sub>-N）に影響したものと考えられる（図 4）。

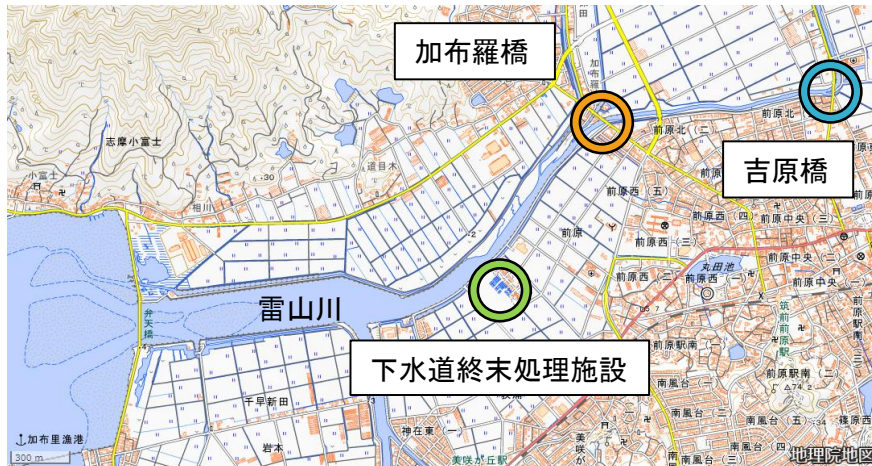


図 2 調査地点周辺図

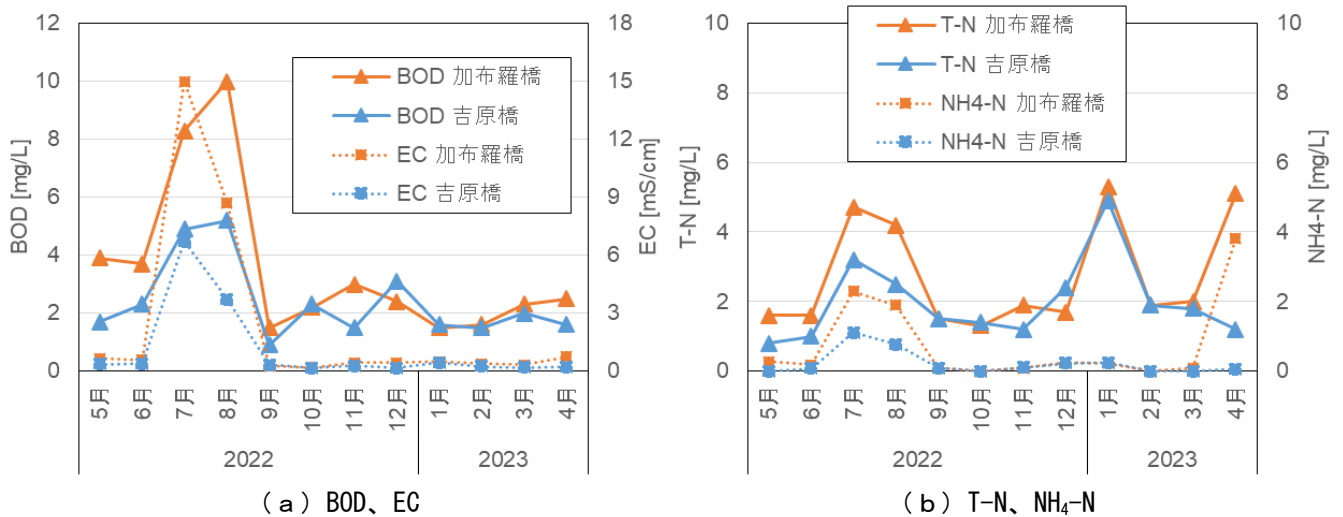
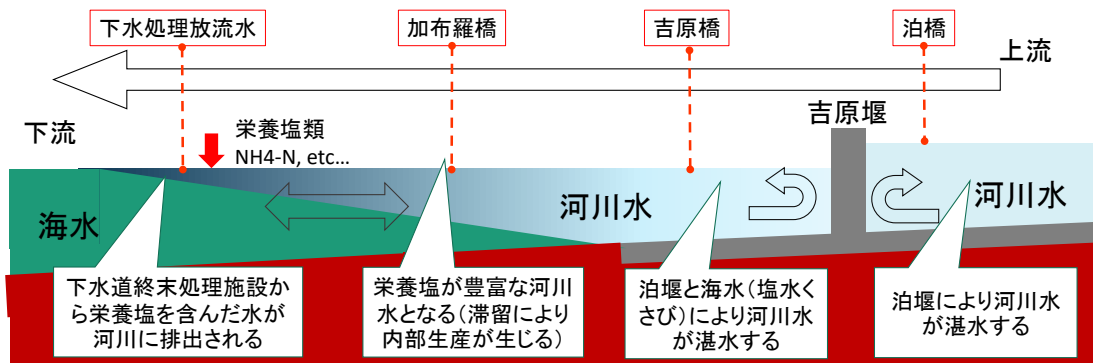


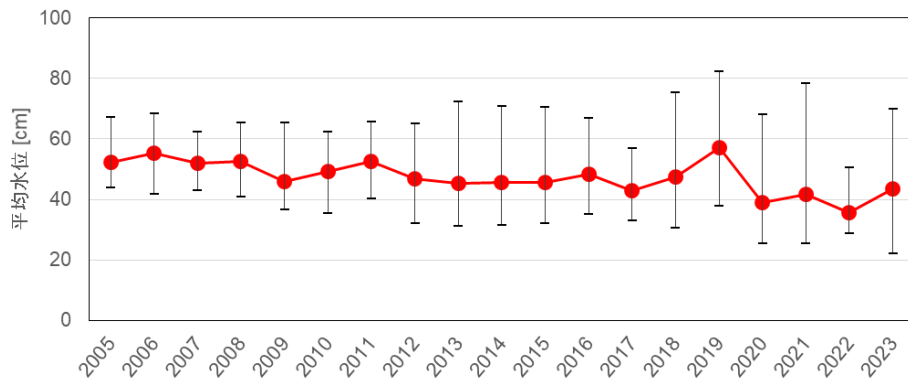
図3 加布羅橋及び吉原橋のBOD、EC、T-N及びNH<sub>4</sub>-N結果



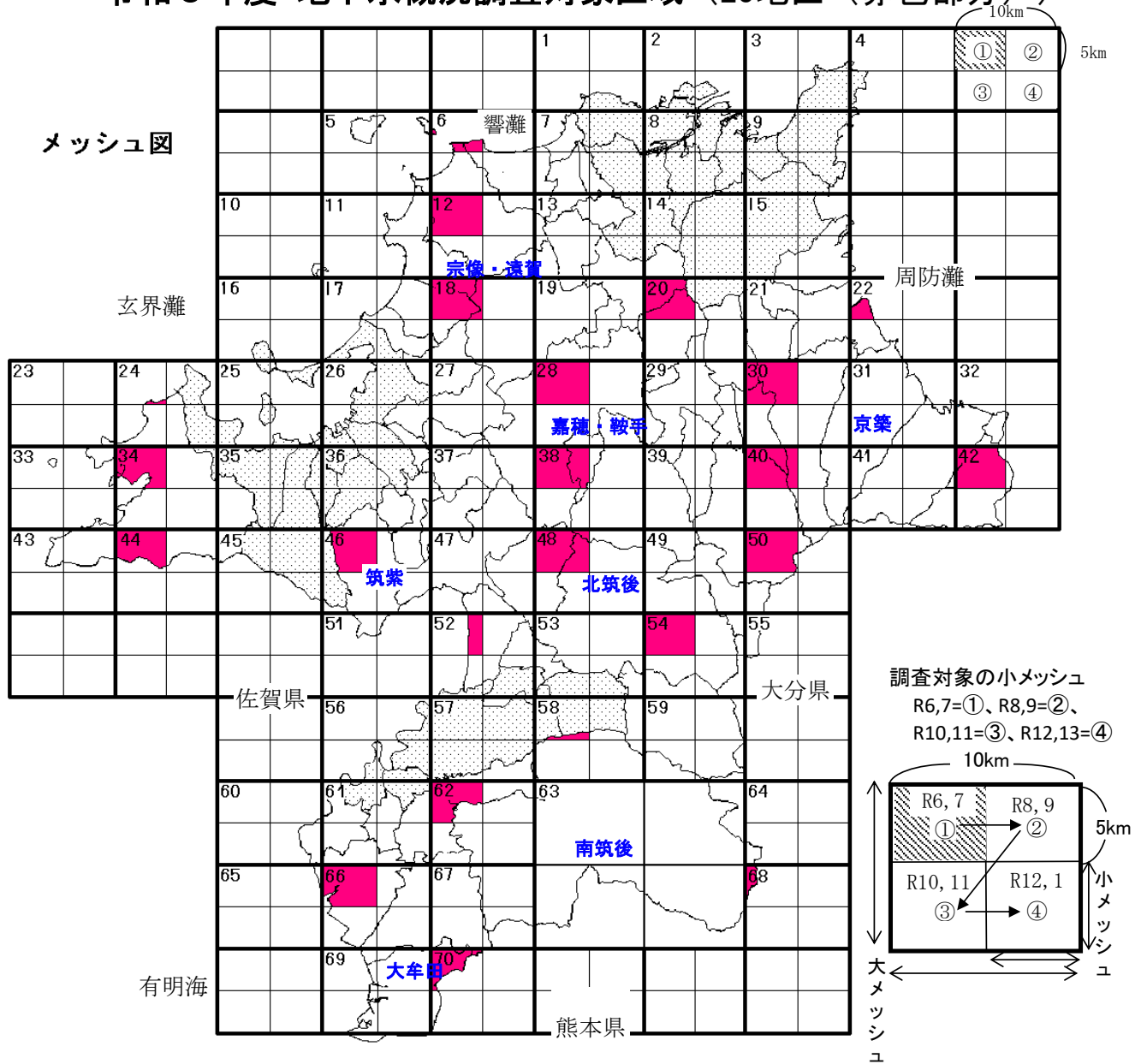
### 3 今後の対応

上記調査結果から、水量が減少傾向（図5）である雷山川において、河口に近い加布羅橋の水質は、海水及び下流域に位置する下水道終末処理施設放流水の影響を大きく受けており、河川の水質を代表する地点となっていない可能性がある。

このため、加布羅橋から上流約1.1 kmに位置する吉原橋を補助点として、令和6～8年度まで3年間、水質調査を実施し、加布羅橋との比較を行うことで、環境基準点としての妥当性を検証する。



# 令和6年度 地下水概況調査対象区域（23地区（赤色部分））



■ …県が実施する地下水概況調査対象区域(R6年度)

※令和6年度の調査対象は偶数番号の大メッシュ中の小メッシュ①である。

調査区域：6, 12, 18, 20, 22, 24, 28, 30, 34, 38, 40, 42, 44, 46, 48, 50, 52, 54, 58, 62, 66, 68, 70  
(メッシュ番号は、地図内の各番号を示す。)

▨ …水質汚濁防止法に基づく政令市(北九州市、福岡市、久留米市)所管区域

※10kmメッシュ(大メッシュ)をそれぞれ4分割(小メッシュ)し、8年で一巡するローリング方式で実施している。

(メッシュ番号63の八女市(黒木町、星野村及び矢部村)においては、人口密度を勘案し、20km×20kmで区画している。)

※次のメッシュ番号は下記理由のため、調査対象から除外している。

- |       |              |        |            |
|-------|--------------|--------|------------|
| 海域    | : 2, 10, 16  | 北九州市区域 | : 4, 8, 14 |
| 福岡市区域 | : 26, 36     | 久留米市区域 | : なし       |
| 県外    | : 56, 60, 64 | 面積過小   | : 32       |

